



リベラル鈴鹿 大窪 博 議員

- 学校教育環境の向上について
 - 夏期時、授業の暑さ対策について
 - 扇風機の導入についての考えは
- 住宅リフォーム助成制度について
 - 本市の調査研究の状況について
 - 制度導入についての考えは

質問1(1) 昨今の猛暑、酷暑の夏期における子どもたちの室内授業環境について対策はされているのか。

答弁1(1) カーテンで遮光し、通気、換気を行い、湿らせた布を首に巻くアイスクール、水筒により、水分補給を行い熱中症の未然防止に努めている。

質問1(2) 授業環境改善の1つとして、扇風機の導入を思うが、考えはあるのか。

答弁1(2) 普通教室における扇風機の導入は、今後校舎の改築や改修の機会に整備したいと考えている。

質問2(1) リフォーム助成制度の調査研究状況は。

答弁2(1) 住宅リフォーム助成制度は、他市の状況によると、地域経済の活性化と雇用の安定の確保により、苦境にある建設業界の支援に繋がると考える。

質問2(2) 本市において、地域活性化推進を図るためにも、リフォーム助成制度の早期導入を思うが、考えはあるのか。

答弁2(2) 一定の経済効果は見られるリフォーム助成制度ではあるが、本市においては公益性の確認の視点とか、財源の確保、予算額と申請件数の整合を図るためにも、もう少し検討をしたい。



緑風会 山口 善之 議員

- 地域のまちづくりについて
- スポーツ振興について

質問1 地域主権の流れが今後進んでいく中で、地域分権型社会の実現に向けて本市においても少子・高齢化、国際化の進展などの市民ニーズの多様化、複雑化に対応していく為には、行政だけでなく地域住民が主体的に取組む体制づくりが必要不可欠と思うが、どの様に考えているのか。

答弁1 市では、住民相互の協力により、自己決定及び自己責任による地域におけるまちづくりを推進するための「地域づくり協議会」の設置を支援している。現在8つの地区で協議会又は準備委員会が設けられ各

種事業が行なわれている。将来的には市内全域での設立を目指し、努力していく。

質問2(1) 石垣池公園陸上競技場においては大会が開催される場合、市内外から数千人の来場があり、駐車場、トイレ等の環境面の整備が必要と考える。又第三種公認の更新がせまっております施設整備が必要。

答弁2(1) 環境面での整備は財政面において難しい第三種公認の更新取得に向け施設整備に努力する。

質問2(2) 平成33年の国体開催に向け、県内において主要都市で唯一硬式野球場がなくプロ野球はもちろん、県大会も開催できない現状であり、スポーツ宣言都市として建設できないか。

答弁2(2) 財政面で厳しいが、スポーツガーデンに隣接する市未利用地の活用を県に要望していく。



政友会 泊り 育美 議員

- 観光振興について
 - ご当地アプリの導入について
 - 大黒屋光太夫について

質問1(1) スマートフォンが普及し、アプリと呼ばれるプログラムが今後は一つの情報共有手段になり、すでに観光地や名所、ご当地グルメなどを紹介するその土地ならではのアプリを導入している自治体もある。ご当地アプリの導入は鈴鹿市の観光振興にも繋がると思うがその考えはどうか。

答弁1(1) 既存の観光パンフレットやホームページに代わり、新しいスタイルの観光案内ツールとしてご当地アプリは近い将来必須の観光アイテムになると考えている。導入は関係団体と連携し、調査・研究を進めていく。

質問1(2) 戦国武将をキャラクター化したゲームやアニメから人気に火が付き、その武将ゆかりの地を旅して回る女性が増えている。真田家ゆかりの上田城跡は観光客が約80万人増えるなど効果が出ているが、鈴鹿市の偉人である大黒屋光太夫をキャラクター化してPRしてはどうか。

答弁1(2) 光太夫を現代風のキャラクターにデザインしたイラストをお菓子の包み紙等に活用して商品販売しているところもある。キャラクター化については、市民一人一人がPRやシティセールスに努めてもらえればありがたい。

